



蕨岡小学校
下田小学校

学校防災 アドバイザー 派遣事業

7月2日(火)

7月2日(火)に蕨岡小学校で、震度7の地震を想定した避難訓練が行われました。

生徒たちは、防災ヘルメットを着用し、本校での避難時の合言葉である【お(押さない)は(走らない)・し(しゃべらない)・も(戻らない)】をきちんと守りながら、素早く避難場所である校庭に集合していました。

その後、高知県学校防災アドバイザーの高知工業高等専門学校岡林宏二郎^{おかばやしこうじろう}教授から、地震の恐ろしさや、命を守るためには避難時にどんな行動をとればいいのかなど、映像を交えながらわかりやすく説明していただきました。この日は、多くの保護者や地域の方々の姿も見え、地域の方々の防災に対する意識の高さがうかがえました。

また、7月9日(火)には下田小学校でも防災授業が行われ、高知県学校防災アドバイザー^{まつおかひろみ}の^{まつおかひろみ}高知大学松岡裕美^{まつおかひろみ}准教授による講演が行われました。講演には保護者や地域の方々も参加し、南海地震に関する知識を学びました。



蕨岡小学校防災授業

後川中学校

山・海の学習

7月11日(木) 7月12日(金)

全校生徒(19名)で7月11日(木)・12日(金)「山・海の学習」を実施しました。今ノ山の学習では、普段知ることのできない、『山が持つ防災の機能』について考えることができました。また、翌日の海と川の学習では環境省自然保護官を講師に招き、下川口豪雨災害による海の被害を含め、海や川の自然の大切さや山とのつながりや自然保護の大切さについて多くのことを学ぶことができました。

初日の足摺海洋館『夜の魚の見学』は、夜と昼間の魚の生態の違いや、暗闇に美しく光る魚などを直接見て、説明を聞き、驚きと感動の時間でした。そして、大水槽の周りにマツトを敷き、水槽を見上げながら寝たことは、不思議な体験でした。

この夏休みには防災キャンプも予定されています。今回の体験学習で得たことが生かされるよう、さらに取り組みに力を入れていきたいと考えています。



足摺海洋館での宿泊

皆さん、こんにちは、玖狸壽 土麗楽(くりす・とれいら)です。

2年間大変お世話になりました。すごく楽しかったです。

一昨年、初めて西土佐へ来た時に、びっくりしました！

「こんなに美しいところに住んでいるのは、ほんまに僕？」という気持ちがありました。西土佐、そして四万十市と言えば、色々な良いところがあります。

四万十川や、綺麗な山々と空、おいしい空気、たぬき、たくさんあります。

でも、私にとって一番好きなのは、子どもたちです。明るくて、優しく、面白くて元気な子どもたちと毎日会えてよかったなと思います。これからアメリカ帰らずに、東京へ引っ越そうと思っています。でも、元気を回復する為に、時々四万十市へ帰りますけん、また会えると思います！

本当にありがとうございました！皆さん、元気でね！また会いましょう！

クリスチャン・トレイラ

Good-bye

四万十市の子どもたち



ご質問・ご意見をお寄せください

(市)教育委員会
西土佐事務所

☎(34)1136

FAX(34)4271

E-mail : school@city.shimanto.lg.jp

☎(52)1110

FAX(52)1446

E-mail : n-school@city.shimanto.lg.jp